

* 編集後記 *

学会名の変更に伴い、本号から「ジオシンセティックス技術情報」という新呼称で登場することになりました。ジオシンセティックスは、まだ、耳慣れない、舌を噛みそうな呼称と感じている方もおられるのではと思いますが、学会の広範囲な活動をより表わしやすい名前ということなので、子供共々早く慣れて、最近話題になっているマイドコントロールやらで非会員の方々も巻き込み、これを機会に学会活動の輪をより大きく広げて欲しいと思います。

ジオシンセティックスの利用は各方面で幅広い進展を示しており、各機関・業界などにおいても着実な調査・研究・開発・施工が積み重ねられています。JCIGSは、土木分野と繊維・化学分野の産官学の業領域における集合体であり、これらの技術の情報交換をスムーズかつ活発に行うことが重要と考えています。その意味で、本誌が何らかの情報の発信源・交換源になればと思います。

本号では、会員からの要望により、「阪神大震災における土構造物の被害状況」という特集を組みました。また、ベントナイトシート(GCL)という比較的目新しい遮水材料の特集も含めています。編集委員会は、さらに読みやすい技術情報を目標に今後も活動して行きたいと思います。なお、本誌について、特集などの編集項目や内容で、会員の皆様のご意見・ご要望等がありましたら、事務局宛にお寄せ戴ければ幸いです。

最後に、執筆戴きました方々、ならびに編集にご協力戴きました方々に厚く御礼申し上げます。

本号担当：川崎廣貴、榎尾孝之、小浪岳治、大倉史郎

I G S日本支部編集委員会（名簿）

| | | |
|-------|-------|----------------------|
| 委員長 | 赤木 俊允 | 東洋大学工学部土木工学科 |
| 委員兼幹事 | 川崎 廣貴 | 清水建設(株)土木本部技術第一部 |
| 委員 | 井原 俊一 | (株)熊谷組土木技術部 |
| 委員 | 大倉 史郎 | |
| 委員 | 笠原 清麿 | 前田工織(株)技術部 |
| 委員 | 小浪 岳治 | 岡三興業(株)開発事業部 |
| 委員 | 坂本 佳一 | (株)錢高組技術研究所 |
| 委員 | 鈴木 聰 | 鹿島建設(株)技術研究所 |
| 委員 | 鈴木 潮 | (株)クラレ東京産資販売部 |
| 委員 | 西村 淳 | 三井石化産資(株)商品技術研究所 |
| 委員 | 深井 慎也 | 東レ(株)アクスター事業部 |
| 委員 | 巻内 勝彦 | 日本大学理工学部交通土木工学科 |
| 委員 | 榎尾 孝之 | 太陽工業(株)土木エンジニアリング事業部 |

I G S日本支部会員現在数（6月末現在）

名誉会員 1名 個人会員 197名 学生会員 41名 法人会員 22社
合計 261名

平成7年7月31日

ジオシンセティックス技術情報（国際ジオシンセティックス学会誌）Vol. 11, No. 2

発行：国際ジオシンセティックス学会日本支部

〒101 東京都千代田区神田淡路町2-23 菅山ビル4階（社）地盤工学会内

TEL 03-3251-7661 FAX 03-3251-6688